

NIKKE

CORPORATE PROFILE
ニッケグループ会社案内

「みらい創造企業」にふさわしい、 魅力的な事業を創造します

創立120周年(2016年度)の節目に向けた羅針盤として、2009年度よりスタートした「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」では、ニッケグループの目指す方向性とあるべき企業像を明確化いたしました。「繊維」「非繊維」の意識をなくし、全ての事業を「本業」と位置付けて成長発展を目指してまいりました。この結果、NN120ビジョン策定時点では1,000億円を超えていた連結売上高は一旦800億円台に落ち込んだものの、「前の年より少しでも成長を」との地道な積み重ねから6期連続で増収増益を達成し、再び1,000億円を回復いたしました。

しかし、ビジネスを取り巻く環境の変化は速く、個々の事業のみならず、経営戦略や運営体制につきましても、時代に即して機能しているかどうかを常に問い続けなければなりません。このような現状を踏まえ、次の10年間のニッケグループの目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、中長期的な企業価値の向上を目指すべく、「リニューアル・ニッケ130ビジョン(RN130ビジョン)」を策定し、成長戦略を引き継ぐことといたしました。

ニッケグループは、全てのステークホルダーにとって価値ある企業を目指し、「前年よりも成長する」という地道な積み重ねを行っていくことが大切だと考えております。そのために、グループ各社が、“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”の共通理念のもと、それぞれが向き合う市場の変化に対応し、常に、未開の分野に目を向け、技術とサービスを磨くことにより、オンリーワンの地位を築いていきます。4事業領域(衣料繊維事業、産業機材事業、人とみらい開発事業、生活流通事業)からなるディビジョンカンパニー制としてスピーディーな事業運営を図るとともに、各事業とも「VOC(Voice Of Customer)」(*)を戦略化し、「みらい創造企業」にふさわしい、魅力的な事業の創造にチャレンジしていきます。

(※)「VOC(Voice Of Customer)」とは、企業活動において仮説をもって、顧客の要求・見方、競合他社や新規参入者の活動、市場の変化などを継続的に追跡・検証し、業績を向上させることと考えます。



ニッケグループ代表
日本毛織株式会社 取締役社長

富田 一弥

経営理念

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、
わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。

- 未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域NO.1サービス」の開発と提供へ挑戦し、みらい創造企業を目指します。

経営方針

- 「全員がチャレンジ精神を持ち」「人が育つ」、生命力あふれた会社を目指します。
- お客様の声と研究開発から、独自性のある商品・サービスで市場を創造します。
- 常に未来を見つめ、グローバルな視点に立ち、世界に広がるお客様と社会の発展に貢献します。
- 多くの市場で勝ち抜くために、広く人材を求め、多様な「知」を結集して、事業を革新・発展させます。
- お客様や株主様、社員、取引先、地域社会をはじめとした様々なステークホルダーとの永続的な信頼関係を築くことにより、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

ニッケグループは共通の経営理念・経営方針で統一された事業複合体です。

ニッケグループの事業は、経営の基本戦略が共通する4つの事業領域「衣料繊維事業」「産業機材事業」「人とみらい開発事業」「生活流通事業」に区分しています。全ての事業は等しく成長の可能性を持つものと認識し、全ての事業を「本業」と位置付けて成長発展を目指します。

またこのディビジョンカンパニー制のもとで、よりスピーディーな事業経営を実現するために各事業と本社機構の役割と責任を明確化し、グループシナジーの最大化を図ります。そして、ニッケグループを共通の経営理念・経営方針で統一された事業複合体と考え、さまざまな分野でお客様に満足頂ける商品やサービスを提供していきます。



事業内容

Business Lines



衣料繊維事業

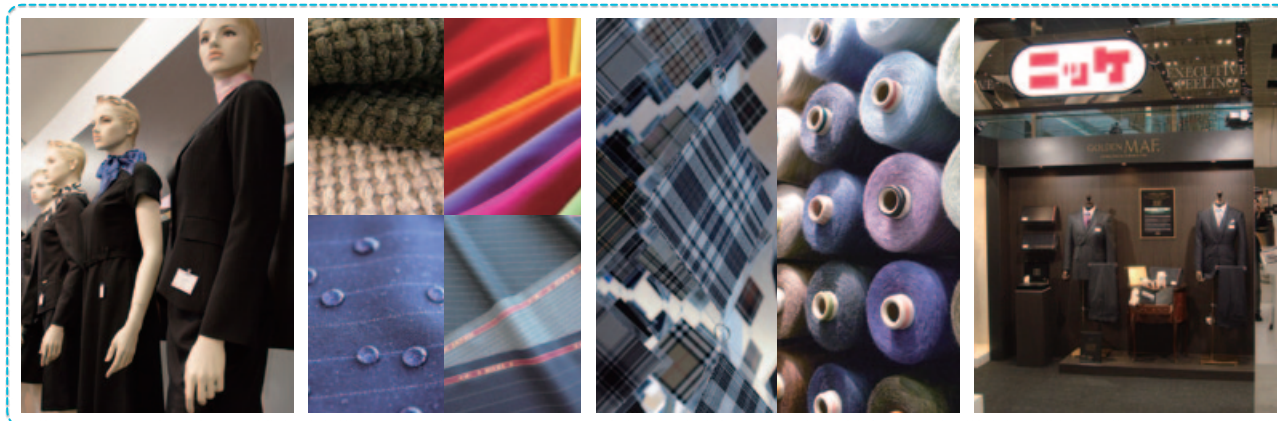
ウール由来の先端素材やハイブリッド素材・製品を開発・提供しています。

ニッケ120年の技術を生かしたウール由来の先端素材やハイブリッド素材の開発に取り組んでいます。国内・海外で行っているVOC（Voice Of Customer）活動をベースに、顧客志向の価値あるものの創造と提供を目指しています。

機能性を高めたファッション衣料から、防火服や防護服に使われる超高機能商材にいたるまで、グローバル展開にも積極的にチャレンジしています。

主な事業内容

- 衣料用途を中心とした高機能素材・製品の開発・製造・販売





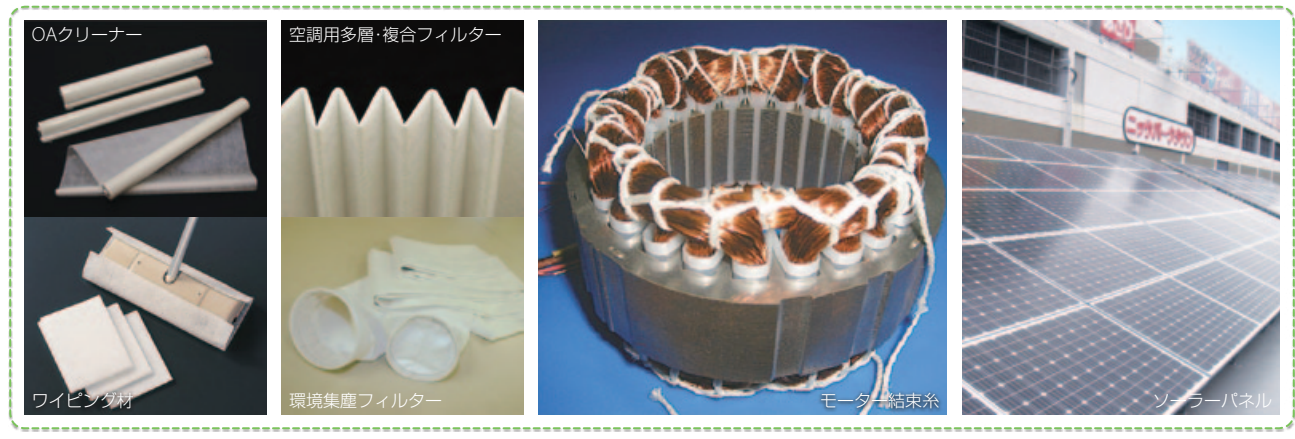
産業機材事業

生活資材から産業機材まで・・・幅広い分野で
最高の顧客価値提供を目指しています。

既成概念にとらわれない開発を積み重ね、新たな市場を切り拓いていきます。
またグローバル市場に向けて最高の顧客価値を提供し、持続的成長を維持していきます。

主な事業内容

- ウールから化繊、糸から紐・フェルト・不織布などの開発・製造・卸売
- 産業用機器の設計・製造・販売
- 環境・エネルギーシステム的设计・施工・メンテナンス
- 産業用資材事業、生活用資材事業
- 産業用FA事業、画像事業、エネルギー事業



事業内容

Business Lines



人とみらい開発事業

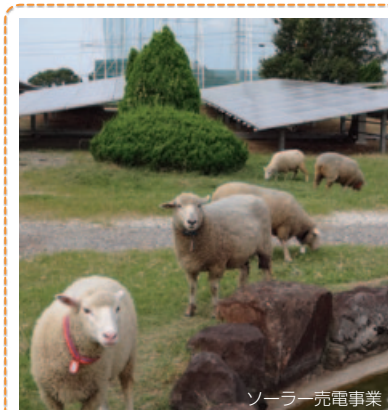
「街づくり＝暮らしづくり」を通じて人々の未来を豊かにしていきます。

人々が集い、地域に愛されるコミュニティ空間を目指し、長期的な視点での「街づくり」開発に取り組んでいます。

地域NO.1のサービスを提供することにより、地域へ貢献し、健康、安心、安全を通じ1人ひとりの笑顔をつくっていきます。

主な事業内容

- 「街づくり」を主眼とした地域共生型のサービス提供および不動産開発
- 介護事業、スポーツ事業
- 商業施設運営事業、不動産事業
- ソーラー売電事業
- 携帯電話販売事業、キッズランド事業、その他新規事業



ソーラー売電事業



介護事業



テニススクール

Consumer Goods and Service



生活流通事業

生活者に近い所において豊かな生活を開発・提供しています。

既存事業の深耕と成長に加え、異業種への参入や事業分野にまたがる業際ビジネスを実現し、収益の拡大を目指しています。

自由な発想で、消費者のニーズを捉えた商品・サービスを開発し、新たな価値・市場を創造します。

ITを活用した販売ネットワークを構築し、物流システムの基盤強化を行うことでグループ内外に対して、より優位性のある貿易・商品流通販売機能の提案・実現を行っています。

主な事業内容

- ブランディングとマーケティングのノウハウを強化した消費財の流通・小売
- 寝装品、イージーオーダー、手編毛糸、100円ショップ向け卸売
- 馬具・乗馬用品、社交ダンス用ドレス
- ホビークラフト事業（スタンプインク）
- ネット販売（寝装品）



ニッケグループの会社概要

Corporate Profile of NIKKE Group



最新情報については
右記QRコードより、
弊社HP「企業情報」を
ご参照下さい。



会社概要

通称社名	ニッケ
社名	日本毛織株式会社
設立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465(百万円)
従業員数	連結: 4,755名 単独: 585名(2015年11月現在)
上場区分	東証1部
代表者	ニッケグループ代表 日本毛織株式会社 取締役社長 富田 一弥(トミタ カズヤ)

グループ事業内容

衣料繊維事業	衣料用途を中心とした高機能素材・製品の開発・製造・販売
産業機材事業	ウールから化合織、糸から紐・フェルト・不織布などの開発・製造・卸売 産業用機器の設計・製造・販売
人とみらい開発事業	「街づくり」を主眼とした地域共生型のサービス提供および不動産開発
生活流通事業	商社機能を活かした、グループ内外に対する販売・物流サービスの提供

ニッケの主な事業拠点

大阪本社	〒541-0048 大阪市中央区瓦町3丁目3-10
神戸本店	〒650-0037 神戸市中央区明石町47
東京支社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目2-8 (タビックスビル)
営業所	札幌、仙台、名古屋、広島、福岡
地域事務所	加古川(兵庫)、中部(愛知)
工場・事業所	印南(兵庫)、岐阜(岐阜)、 一宮(愛知)
創作工房	一宮(愛知)
ショッピングセンター	ニッケパークタウン(兵庫)、 ニッケコルトンプラザ(千葉)
海外	ミラノ、上海、タイ

ニッケグループのネットワーク

Network of NIKKE Group

国内ネットワーク



ニッケコルトンプラザ



ニッケパークタウン



ニッケ創作工房



ニッケ岐阜工場



ニッケ印南工場



アンビック株式会社

海外ネットワーク



ニッケミラノオフィス



日毛(上海)管理有限公司



青島日毛織物有限公司



江陰日毛紡績有限公司

ニッケグループは、未来に向けて挑戦



1



2



3



4



5

- 1896 日本毛織(株)設立
- 1899 加古川工場操業開始 **1**
- 1900 陸海軍省に初めて毛布を納入
- 1901 ラシャの製造を開始
- 1912 梳毛糸・モスリンを発売
- 1919 印南工場操業開始
- 1937 神戸市中央区明石町47に本社ビル建設(現・本店)
- 1941 共立モスリン(株)(旧中山工場・旧館林工場)を吸収合併
- 1942 昭和毛織(株)を合併し、弥富工場、一宮工場として発足
- 1949 東京証券取引所1部に上場
- 1956 ニホンケオリ・アルゼンチナ設立(1981年閉鎖)
昭和天皇・皇后両陛下が加古川工場に行幸啓 **2**
- 1958 鶴沼工場操業開始(現在の岐阜工場)
- 1961 ニッケ不動産(株)設立
- 1962 印南工場でカーペットを製造開始
- 1964 日本でのウールマーク使用認可第1号を取得
- 1970 機械製作所設置
(1978年(株)ニッケ機械製作所として独立)
- 1971 大阪市中央区淡路町4-61に大阪支店新築(1991年閉鎖)
- 1976 加古川・印南両工場を統合し印南工場とする
- 1984 ニッケパークタウンオープン
「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」スタート **3**
(2005年第18回をもって終了)
- 1986 ニッケ弥富ゴルフコース建設、営業開始
- 1988 ニッケコルトンプラザオープン **4**
- 1990 加古川マラソンに協賛スタート
ニッケミラノオフィス開設
- 1991 大阪市中央区瓦町3丁目3-10に現本社ビル完成
- 1993 豪州にニッケポートフィリップスカーリング
を合併で設立
- 1995 双洋貿易(株)を買収、馬具・乗馬用品の
製造・販売事業へ進出
- 1996 日本毛織(株)日清紡(株)帝人(株)3社で
「トライアングルプロジェクト」スタート
創業100周年を迎える
一宮市にニッケ創作工房開設 **5**
- 1997 弥富工場を閉鎖
弥富ウール(株)(紡績・紡毛部門の子会社)設立

する歴史を歩み続けます。

- 1998 中国青島市に青島日毛織物有限公司設立 **6**
ニッケスポーツパーク(総合スポーツ施設)オープン
- 1999 尾西毛糸紡績(株)を合併
- 2002 東京支社を八重洲に移転
「プルミエール・ヴィジョン」にアジアから初めて出展
アンビック(株)を子会社化 **7**
中国の江陰日毛紡績有限公司買収
- 2003 (株)ジーシーシーを子会社化
- 2005 全日本テニス選手権大会に特別協賛(2013年をもって終了)
- 2006 (株)ゴーセンを子会社化
「第1回ニッケPureHeartエッセー大賞／イラスト大賞」主催、実施 **8**
- 2007 「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」策定
定年制65歳に延長決定
- 2008 通称社名「ニッケ(NIKKE)」を採用
組織改正により6つの事業領域に区分
- 2009 ニッケコルトンプラザ 増床リニューアルオープン
- 2010 艶金化学繊維(株)との業務提携を締結
- 2011 日本馬術連盟とオフィシャルスポンサー契約を締結
- 2012 日毛(上海)管理有限公司設立
安碧克(上海)貿易有限公司設立
ゴーセン・タイランド設立
組織改正により4つの事業領域に区分
- 2013 (株)ツキネコを子会社化
ニッケまちなか発電所明石土山開業 **9**
ニッケ・タイランド設立
- 2014 ニッケテキスタイル(株)設立
ニッケパークタウンが開業30周年を迎える
(株)ナカヒロが創業120周年を迎える
- 2015 本社ビル1階に事業紹介コーナーを開設 **10**
日本パムコ(株)を子会社化
杉本織物(株)を子会社化
ユニフォーム事業の企画・販売機能をグループ商社へ移管
一宮事業所の紡績・整理技術を岐阜工場、印南工場へ集約
(株)ゴーセン本社をニッケ四ツ橋ビルへ移転





うーるん

ニッケグループ

〒541-0048 大阪市中央区瓦町3丁目3-10
Tel.06(6205)6600 Fax.06(6205)6684

URL: <http://www.nikke.co.jp>
FB: http://www.facebook.com/nikke_group